

ユニオンファンド 月次レポート

第190号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年9月5日作成

MONTHLY TOPIC

荒れ模様の市場と天候を見て考えたこと

8月初旬の株価急落と台風10号には何の関係もありませんが、、、

当たらないという点で似ている株価予想と天気予報ですが、それでも天気予報はよく当たるようになってきた、と思っていました。しかし、台風10号によって予報の難しさを改めて認識させられました。台風の進路は実に多くの要因によって決まること、各種の予報モデルがあり、モデルによって進路予想が随分異なることも知りました。

株価予想が難しいのも、株価を動かす要因が複数あり、それらが絡み合っているからですが、このうち投資家心理は曲者（くせもの）です。売買を通じて株価に直接影響を及ぼす重要な要素なのですが、みな好き勝手にいろいろ考え行動するので、十分にとらえることはほぼ不可能です。人の心次第で動く部分が多いことは、台風の進路予想以上に株価予想を難しいものにしてるように思います。似たような話は前にも書いたことがありました。

台風はいずれ消えるが、消えずに続くものもある

台風はあちこちに大きな被害をもたらしますが、それでもいつかは消えてなくなります。それとは異なり、地球温暖化は、時間が経っても解決しないばかりか悪化し続けるかもしれません。

地球の気温が上がり続けるのは厄介この上ない問題ですが、株価が上がり続けることは私たちにとって大変ありがたいことです。株価上昇の根底にあるのは、暮らしを良くしたいという人々の強い希望・情熱と努力だと常々思っています。「これ以上の豊さは不要だ」と誰もが考えるようになるまで、経済・企業業績の拡大と株価の上昇は続くのでしょうか。そうであるなら、市況の急変も、それを予想できないことも、大問題とは言えません。

安心しきって大丈夫かどうか考えていきます

今回の台風10号がひどく迷走したこと、極めて強い勢力を保ったまま日本列島に接近したことには、少々考えさせられました。発達を続けたのは、日本列島の近くまで海水温が高かったからだと言われています。では、海水温が高かったのはたまたまなのか、それとも、たとえば地球温暖化が関係しているのか――。素人の私にはわかりませんが、もし関係があるなら、強い台風が日本の近くに居座ることが今後もあり得ると考えるべきなのでしょう。

8月初旬の株価下落があのように急激なものになったのは、株式市場と為替市場の内部にたまっていた歪みが一気に解消されただけで、持続性はないと見ていますが、何か目に見えにくい要因が歪みを作り続けているということであるなら、話は少し変わってきます。株式市場においても、一過性・一時的と簡単に片づけられない程度の慎重さはやはり必要です。そうした意識はこれからも持ち続けていきたいと考えています。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2024年8月末現在)

基準価額

37,614 円

純資産総額

136 億 26 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	-2.29%
1 年	8.11%
3 年	23.82%
5 年	69.88%
10 年	87.34%
設定来	276.14%

複利年率(%)

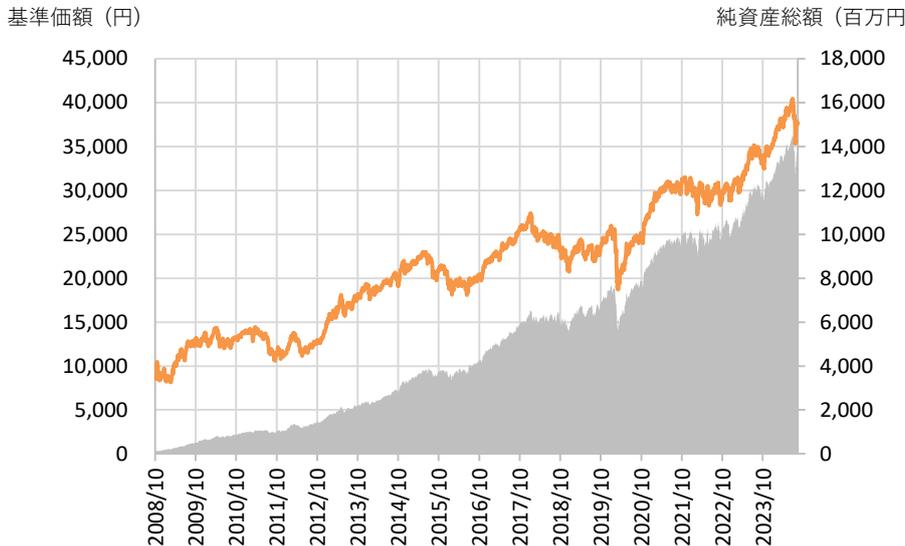
8.70%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

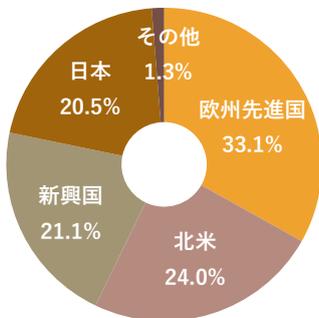


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	-2.9%
スパークス F	日本	12.4%	-0.3%
キャピタル F	欧米	19.6%	-2.0%
ハリス F	欧米	18.9%	-4.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.6%	-1.3%
コムジェスト・エマージング F	新興国	17.6%	-3.1%
現金等	-	14.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年7月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2024年8月の市場動向と運用状況

投資環境

8月の世界の株式市場は、月初に急落したもののその後は回復し、中旬以降は横ばいないし緩やかな上昇傾向で推移しました。月初の急落にはいくつかの要因がありました。第1は景気や金利の見通しに関するもので、日銀が7月末に予想外の利上げ継続姿勢を示したことにより為替市場が混乱したことと、米国の雇用統計が弱かったことなどから景気後退懸念が高まったことが挙げられます。

第2は、株式市場や為替市場での持ち高（ポジション）を整理する動きが加速したことです。日本株の急落はもちろん、世界の株価の下落や円の急速な上昇をもたらしたと見られます。株式市場には、信用取引と言って、お金を借りて株式を買ったり、株式を借りて売ったりする、といった制度がありますが、このうち株式買いの残高が膨らみ潜在的な売り圧力となっていました。また、為替市場では、ドル上昇・円下落に賭けて円の先物売りが積みあがっていました。ともに株高と円安が続けば大きな利益を得られるのですが、見通しが逆になりそうだと判断した投資家は、持ち高を解消しないと大損になると考え、株式市場では株式を売り、為替市場ではドル売り・円買いを一気に進めたと見られています。日本の低金利継続を見込んで円資金を借り、その円を売ってドルを買い、そのドルで米国株式などを買う、いわゆるキャリートレードも盛んに行われていましたが、円が上昇するとキャリートレードの逆回転が始まって米国株も売られ、米国株の下落に反応して世界中で株価が大きく下がる結果となりました。

その後、日銀から利上げは慎重に進めるとのコメントがあり、円の上昇が一段落したことや、米国のインフレ率が低下し、金融緩和期待が強まったことで経済の先行きへの不安がやわらいだことから、株価は回復に転じました。一方、為替市場では、米国金利の低下予想が根強く、ドルの回復は限定的でした。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は下落しましたが、市場全体よりも小幅な値下がりにとどまりました。組入比率が低めであることや、円換算の下落率が相対的に小さかった日本と欧州を多めに保有していることなどが奏功しました。売買は見送りました。月末の組入比率は86.0%と、前月から低下しました。

今後の見通し

米国では9月の利下げが既定路線となっており、欧州など他の地域の中央銀行が米国の利下げに追随する可能性も高まってきました。世界の景気と株式市場にとって追い風になると見られます。ただ、利下げによって景気の悪化を避けられるかどうか、まだ注意が必要と思われます。今のところソフトランディング（軟着陸）予想が市場参加者のメインシナリオですが、8月初めのように景気指標の出方次第で投資家心理が大きく悪化する可能性は残っています。足元の市場は再びやや波乱含みになってきました。

世界の株価は急落後、概ね順調に回復してきましたが、株価の上昇と並行して投資家の現金比率は低下していますし、株価が再び割高になりつつあることを示唆する指標も増えてきました。また、11月初めの米国大統領選挙は、市場のかく乱要因になる可能性があるため、今後一層の注意が必要となりそうです。ハリス、トランプ両候補が打ち出す政策が経済に与える影響に十分留意していくつもりです。

運用責任者 久保田徹郎

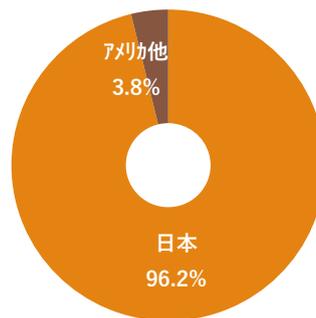
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



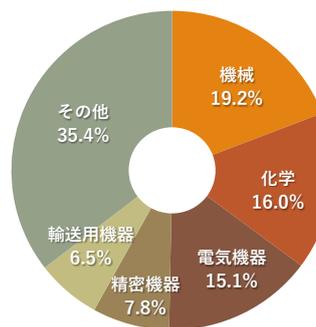
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	3.9%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 テルモ	3.2%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 プリチストン	2.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
6 三菱重工業	2.6%	日本	機械	大手総合重機
7 トヨタ自動車	2.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 INPEX	2.6%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 日立製作所	2.5%	日本	電気機器	総合電機世界大手
10 TOTO	2.4%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
上位10銘柄	30.1%		現金等	11.5%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年8月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



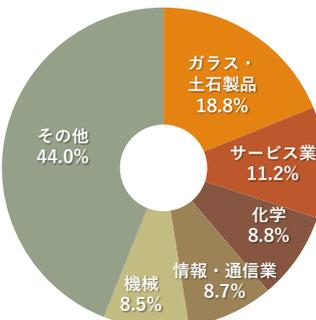
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
サイゼリヤ		日本	小売業	ファミリーレストラン
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等				5.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年7月末現在>

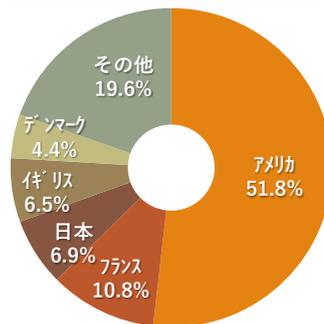
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



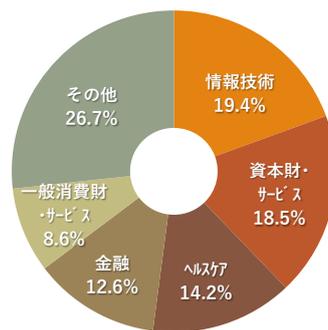
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	2.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.9%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Microsoft	2.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 Apple	2.0%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 AstraZeneca	1.9%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 Safran	1.8%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
8 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 TotalEnergies	1.6%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 UnitedHealth	1.3%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
上位10銘柄	20.8%	現金等	5.6%	

業種別構成比



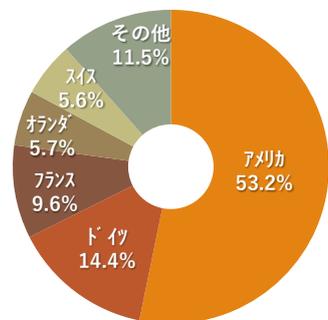
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年7月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



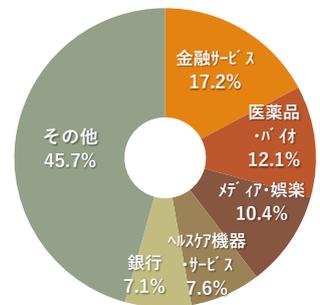
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BAYER	3.8%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
2 IQVIA	3.8%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
3 FISERV	3.8%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
4 CNH INDUSTRIAL	3.5%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 BNP PARIBAS	3.5%	フランス	銀行	フランス大手銀行
6 CAPITAL ONE	3.3%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
7 MERCEDES-BENZ	3.3%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 BANK OF AMERICA	3.3%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
9 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	3.2%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
10 CHARTER COMMUNICATIONS	3.2%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
上位10銘柄	34.7%	現金等	4.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年7月末現在>

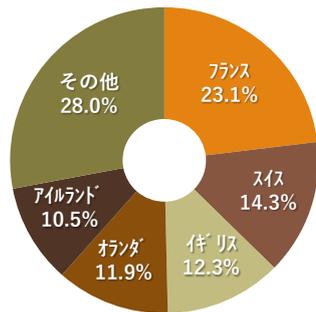
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	8.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	7.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	5.2%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 ACCENTURE	4.1%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
5 ALCON	4.1%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
6 EXPERIAN	3.8%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 LVMH	3.7%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
8 STRAUMANN HD	3.4%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
9 LINDE	3.0%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
10 LONZA	2.9%	スイス	ヘルスケア	医薬品・バイ
上位10銘柄	45.9%	現金等	3.2%	

業種別構成比(マザーファンド)



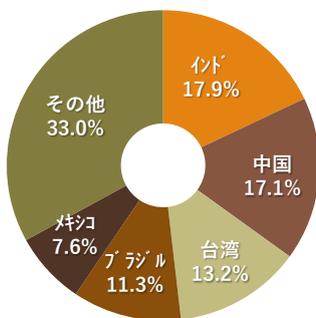
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年8月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



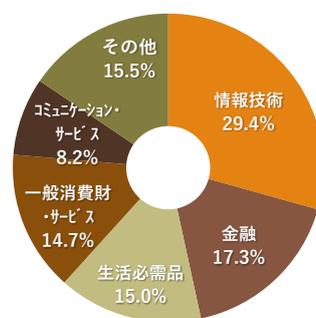
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	5.9%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	4.9%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 ASML	4.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6 DELTA ELECTRONICS	3.9%	台湾	情報技術	電源、変圧器
7 MARUTI SUZUKI	3.9%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
8 WEG	3.8%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
9 POWER GRID OF INDIA	3.6%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 FOMENTO ECONOMICO	3.4%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニエンス
上位10銘柄	47.5%	現金等	1.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年8月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

NISA 口座の「年間投資枠」について（弊社にて NISA 口座をご利用中のお客様）

弊社にてお取引いただける NISA 口座の年間投資枠は、「成長投資枠」の 240 万円です。

年間投資枠を超えて購入注文（定期定額購入も含む）があった場合、超過分は課税口座（特定口座や一般口座）でのお取引となります。

その年の残りのご利用可能額につきましては、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着はがき）にて、作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

また、「取引残高報告書」（封書タイプ）でも、「お預り証券等の残高明細」の次項でその年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。

NISA 口座の年間投資枠の上限に近づいている方で、年間通して NISA 口座だけのご購入を希望される場合は、上限額を考慮していただく必要がございます。

（たとえば、定期定額購入をご利用中であれば、毎月の購入金額の変更で対応するなど）

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」** よりご請求ください。

《弊社ホームページからの変更用紙請求手順》

「お取引について」 > 「登録情報変更用紙請求」ページ

https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/

- ① [入力フォーム]お客様情報 をご入力
- ② [入力フォーム]手続きされる項目の書類の必要枚数、用紙送付先情報をご入力
- ③ 「入力内容の確認画面へ」 > 内容ご確認の上「送信」ボタン

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご変更内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、NISA 口座、マイナンバー、お届出印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。